

奈良県の保育士確保対策(案)について

- 1 保育士確保における基本的な対応方針について
- 2 保育士実態調査の結果を踏まえて
 - (1)保育士人材バンクの設置について
 - (2)保育士のキャリアパス、ワーク・ライフ・バランス等について
 - (3)県での保育士養成について(モデル的取組)

保育士確保における基本的な対応方針

1 現任保育士の定着促進

- (1) キャリアパスの整備
 - (2) ワーク・ライフ・バランスの推進
 - (3) マネジメント能力の向上
 - (4) 保育士の資質の向上(専門的な研修の充実や階層別研修の実施)
- } 施設長に対する研修

2 潜在保育士の(再)就職支援

- (1) 保育士の仕事の紹介・あっせん
- (2) 再就職支援研修の実施
- (3) 就職フェアの実施

3 新規就業者の増加

- (1) 仕事の魅力を高め、発信する取組の推進
- (2) 関係機関(保育士養成施設、労働局等)との連携の推進
- (3) 子育て経験者の保育士資格取得支援

保育士実態調査の結果を踏まえて(1)

- 県内の自治体や保育所の保育士確保のため「保育士人材バンク」を設置
- 保育士資格を有しながら保育士として就労していない、いわゆる「潜在保育士」の就労機会を確保(保育士の仕事の紹介・あっせん)

<保育士実態調査(保育士登録者用)の結果>

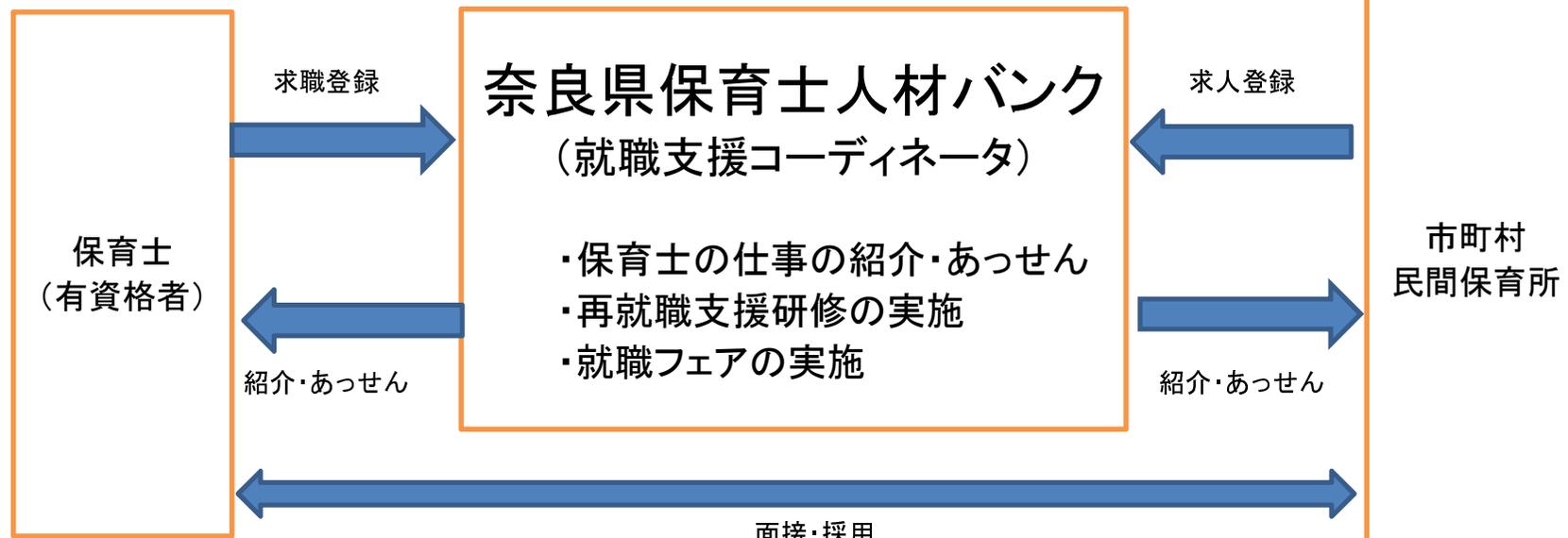
問35 (現在保育士として就労していない方)今後の就業希望

→「保育士として働きたい 31.7%」、「保育士以外として働きたい 23.3%」、「未定 26.6%」ほか

問45 人材バンクの活用意向 → 「活用したい 83.9%」、「活用したいとは思わない 8.2%」

<保育士実態調査(保育施設用)の結果>

問16 今後の潜在保育士雇用を求める支援 (上位3位)



保育士実態調査の結果を踏まえて(2)

- 当面の保育士確保対策として保育士人材バンクを設置
- 本質的な問題として、保育士の「キャリアパスの整備」および「ワーク・ライフ・バランスの確立」について、県として継続的に検討
- その成果を「保育士の仕事の魅力を高める取組」として発信

<保育士実態調査(保育士登録者用)の結果>

問23 (現在保育士として就労している方)現在の施設で働きたくない理由(上位3位)

→「給与に不満 39.8%」、「休暇が取れない、取りづらい 36.2%」、「身体的な負担が大きい 30.6%」ほか

問26 (過去に退職経験があり、現在も保育士として就労している方)退職した理由(上位3位)

→「職場の人間関係が良くない 19.8%」、「休暇が取れない、取りづらい 19.3%」、「身体的な負担が大きい 17.2%」ほか

問17 保育士として「やりがい」に感じること(上位3位)

→「子どもの育ちに関わることができた 88.5%」、「収入が得られている 39.6%」、「信頼できる仲間ができた 30.2%」

問43 再就職で最も不安に思うこと(上位3位)

→「家事と子育てと仕事の両立 39.0%」、「体力的に仕事を続けられるか 14.4%」、「職場の人間関係 12.2%」

保育懇話会

H25.4

H25.6

H25.10

<メンバー>

※知事、保育所長等

保育士についての検討会 (H25後半～H26前半)

- 保育士のキャリアパスの整備
- 保育士のワーク・ライフ・バランス
- 保育士の仕事の魅力を高める取組

<メンバー>

※知事、福祉・労働関係の学識、行政機関、民間企業、保育所長等

奈良県保育士 セミナー(H26後半)

- ・基調講演
 - ・パネルディスカッション
 - ・分科会
- <対象>
※市町村長、保育所長、学生、一般等

キャリアパスの整備

ワーク・ライフ・バランスの確立

マネジメント能力の向上

専門的な研修の充実、階層別研修の充

県での保育士養成について(その他のモデル的な取組)

- 子育て経験をキャリアとして活かすため、子育て中の主婦を対象に保育士資格の取得を支援
- 保育士の確保だけでなく、女性の(再)チャレンジを後押しし、就業率も向上

<保育士実態調査(保育施設用)の結果>

問12-2 新卒以外で採用した保育士の経歴(上位3位)

→「保育士経験者 74.6%」、「子育て経験者 26.3%」、「保育・教育関係の職業経験者 21.6%」ほか

問17-1 潜在保育士を雇用するメリット(上位3位)

→「保育士経験がある 70.3%」、「子育て経験がある 56.5%」、「他業種での社会人経験がある 31.5%」ほか

○結婚や出産を機に仕事を退職した子育て中の女性や子育て経験者



県による保育士資格取得支援

※合格率の低い「子どもの食と栄養」、「子どもの保健」等の科目を集中講義
※個人では確保しにくい実技科目の実習の場を確保

○筆記試験対策
・開講式
・オリエンテーション
・講義

○保育実習体験
県内協力保育所での実習体験)



○人材バンクを活用し、県内保育所に就労

■ 保育士試験実施状況（平成23年度及び平成24年度）

○実施時期：筆記試験8月、実技試験10月（※筆記試験合格者のみ）

○受験料：12,900円

| | 試験科目 | | 受験者数(人) | | 合格者数(人) | | 合格率 | | 平成25年 試験科目 | |
|------|------------------|------|---------|-----|---------|-----|-----|-----|-----------------|--------|
| | | | H23 | H24 | H23 | H24 | H23 | H24 | | |
| 筆記試験 | 社会福祉 | | 610 | 613 | 334 | 343 | 55% | 56% | 社会福祉 | |
| | 児童福祉 | | 611 | 606 | 334 | 256 | 55% | 42% | 児童家庭福祉 | |
| | 発達心理学及び 精神保健 | 発達心理 | 450 | 510 | 191 | 298 | 42% | 58% | 保育の心理学 | |
| | | 精神保健 | 625 | 697 | | | 31% | 43% | | 子どもの保健 |
| | 小児保健 | | 547 | 604 | 301 | 333 | 55% | 55% | | |
| | 小児栄養 | | 723 | 800 | 95 | 303 | 13% | 38% | 子どもの食と栄養 | |
| | 保育原理 | | 582 | 593 | 357 | 269 | 61% | 45% | 保育原理 | |
| | 教育原理及び 養護原理 | 教育原理 | 508 | 482 | 338 | 64 | 67% | 13% | 教育原理及び 社会的養護 | |
| | | 養護原理 | 701 | 660 | | | 48% | 10% | | |
| | 保育実習理論 | | 660 | 654 | 292 | 258 | 44% | 39% | 保育実習理論 | |
| 実技試験 | 実技試験 (2科目を選択) | 音楽 | 61 | 90 | 80 | 112 | 89% | 86% | 音楽 | |
| | | 絵画制作 | 43 | 69 | | | | | 130 | 造形 |
| | | 言語 | 78 | 101 | | | | | 言語 | |

■各科目において、満点の6割以上を得点した者を合格とする。